広報 まちだ
第1345号
2002年（平成14年）11／21
発行・町田市　編集・企画部広報広聴課
〒194-8520　東京都町田市中町1－20－23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月３回１の日（１日、11日、21日）
ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

市の宣言
◇男女平等参画都市宣言
◇非核平和都市宣言
◇青少年健全育成都市宣言
◇交通安全都市宣言

町田市長期計画審議会が発足

時代の変化に対応できる長期計画のあり方を検討

市では、２００３年度に現在の「町田市基本計画」が終了することに伴い、２００４年度からの新たな基本計画を策定する準備を進めてきました。そして、10月29日、「町田市長期計画審議会」を発足させ、基本構想の改定も視野に入れた長期計画の策定作業を本格的に開始することになりました。
問政策審議室☎７２４・２５０３

10月29日、町田市長期計画審議会が発足、第１回会合が開かれました

町田市は、１９９４年度を初年度とする「町田市基本構想・基本計画」を策定し、計画目標に沿ってさまざまな施策を進めてきました。

しかし、現行の基本計画がスタートした時期と重なるように始まったバブル経済の崩壊は、日本経済を長期不況へと導き、いまだにその出口さえ見えない状況が続いています。

この間、社会・経済環境は、計画策定時には予測できないほどの激しい変化の波にもまれ、日本社会が戦後脈々と築き上げてきた社会・経済システムをも根底から突き崩す、大きな変革の時代に突入しています。

また、２０００年国勢調査結果をもとに、国立社会保障・人口問題研究所が行った日本の将来人口推計では、２００６年度をピークに減少に転じるという結果が示されています。こうした将来にわたっての社会環境の変化は、当然町田市にも及ぶ問題で、町田市が今後、どのような都市を目指すかは、大変重要な課題となっています。これまでは右肩上がりの成長管理を前提にすべてが捉えられていましたが、今後はこれまでの蓄積をいかに持続していくか、どのように転換していくかが大きなテーマとなっています。

同審議会では、これらの状況を踏まえ、新たな長期計画を策定するにあたり、人口減少時代に向かってもなお輝きを保つ成熟した都市を創るため、また、さまざまな担い手が協働してまちづくりに取り組めるよう、明確な都市のビジョンと戦略に基づき、時代の変化に対応できる長期計画のあり方について重点的に検討していくことにしています。

なお、新たな長期計画では、次の５つの基本コンセプトに基づき、策定作業を行います。

① 市民に成果がわかる計画づくり
② 責任の所在が明確な計画づくり
③ 地域特性「まちだらしさ」を生かした計画づくり
④ 市民の意見を反映した計画づくり
⑤ 社会状況の変化に対応できる計画づくり

町田市長期計画審議会傍聴できます

第２回町田市長期計画審議会を開催します。

傍聴を希望される方は11月22日までに政策審議室（☎７２４・２５０３）へご連絡下さい。

○日時　11月25日（月）午後６時30分から
○会場　市役所本庁舎市長公室
○議題　「町田市長期計画策定方針案について」
○定員　５人（申し込み順）

町田市長期計画審議会委員

氏名	所属団体等
◎荒木　重雄（あらき しげお）	桜美林大学国際学部教授
荒木　尚子（あらき なおこ）	町田ゴミニティ
伊藤　啓子（いとう けいこ）	町田市リズム運動サークル
岩上　誠次（いわかみ せいじ）	真光寺川里親の会
瓜生ふみ子（うりう ふみこ）	ＮＰＯ法人　ＣＣＣＮＥＴ
○大川　信行（おおかわ のぶゆき）	東日本国際大学経済学部教授
大谷　智之（おおたに ともゆき）	町田市立中学校ＰＴＡ連合会
大野　純一（おおの じゅんいち）	町田ソフトウェア振興会
神長　一郎（かみなが いちろう）	すずかけ会館管理運営委員会
小出　五郎（こいで ごろう）	大妻女子大学家政学部教授
辻　琢也（つじ たくや）	政策研究大学院大学助教授
野村　知子（のむら ともこ）	桜美林大学経営政策学部助教授
松本　暢子（まつもと のぶこ）	大妻女子大学社会情報学部助教授
横山　薫（よこやま かおる）	町田青年会議所

◎印は会長　○印は職務代理　〈五十音順〉

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

市民の皆さんのご意見・ご要望は、手紙、ファックス（FAX７２４・１１６３）、電子メール（町田市ホームページの新着情報からアクセスできます）でお寄せいただけます。

なお、長期計画審議会は、すべての審議を傍聴できるほか、議事要旨などは町田市ホームページでご覧いただけるよう現在準備を進めています。

また、来年３月には「長期計画公聴会（第１回）」の開催を予定しています。

市民病院総院長に山口洋氏

11月1日付で、市民病院総院長に山口洋氏（昭和９年生まれ、68歳）が就任しました。

山口氏は昭和36年、東京大学医学部卒業。昭和43年米国クリーブランド・クリニックに留学し、帰国後、虎の門病院循環器科主任医員、循環器センター内科部長、順天堂大学医学部附属順天堂病院副院長、院長職務代行、同順天堂浦安病院院長等を歴任しています。

山口　洋氏

教育委員に井関孝善氏　岡田英子氏

10月28日付で、教育委員に井関孝善氏（昭和16年生まれ、61歳）、岡田英子氏（昭和31年生まれ、45歳）が就任しました。任期は４年です。

井関氏は東京工業大学名誉教授で、現在、工学院大学応用化学非常勤講師を務めています。岡田氏は青山学院女子短期大学講師、恵泉女学園大学講師等を歴任、現在、町田市立小川小学校保護者と教職員の会（ＰＴＡ）会長を務めています。

井関　孝善氏

岡田　英子氏

町田の酪農家が健闘
北島隆さん（相原町）が農林水産大臣賞を受賞

第22回農林水産祭参加東京都乳牛共進会が10月26日、青梅市の東京都畜産試験場で開催され、町田の酪農家が出品した乳牛が優秀な成績を収めました。

○第４部　経産（３歳未満の部）　優秀賞（１席）及びベストアダー賞（最優秀乳器賞）に北島隆さん（相原町）が出品した乳牛

農林水産大臣賞を受賞した乳牛

また、第４部で優秀賞に輝いた北島さんの乳牛は農林水産大臣賞（名誉賞）も受賞、同時に東京都知事賞（名誉賞）、日本ホルスタイン登録協会会長賞ほか多数を受賞しました。

○第５部　経産（３歳以上４歳未満の部）
ベストアダー賞及び一等賞に北島さんが出品した乳牛

○第６部　経産（４歳以上の部）　優秀賞（１席）に北島さんが出品した乳牛▽一等賞（２席）に中島義雄さん（相原町）が出品した乳牛

○第１部（未経産）
二等賞に友井實さん（小川）が出品した乳牛

R100 本紙は古紙配合率100％・白色度70％再生紙を使用しています。ごみの減量と資源化にご協力を